

関節リウマチの主観的症状と 医師と患者さんのコミュニケーションに関する調査結果



日常における主観的症状の有無

痛み



9割強

9割弱

倦怠感



8割強

7割弱

こわばり



6割強

約4割

いろんな時間・場面で
変化

寛解と
言われても...

あまり
差がない

診察時のコミュニケーション

医師に十分に
理解
されていない



主観的
症状

困っている
状態や
気持ち

「十分に理解されている」と
感じる患者さんは約2割にとどまる

特に倦怠感・
こわばりは
話されていない

理由

医師から
聞かれないので

本音の治療目標
4割弱の
患者さんは
話していない

患者さんから
話す
重要!!

医師から
質問
する

痛みが
ない

本音の
治療目標

気がねなく
やりたいことを
やりたい!!



「良い日」とは

倦怠感がなく
エネルギーがある

こわばりがない

社会生活

日常生活に与える影響

家事



重いものを
持ち上げると痛い

交友関係

心理状態

気分が
悪い... 躊躇...

時間か
かる
ように
なっている



リフト

前もって
相談できない
迷惑を
かけて
ほめては

働きを変え
たい人は
少ない人も...

やりたい
けど...